

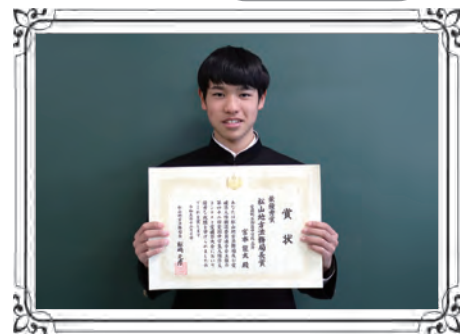
御荘中学校3年生 宮本龍太さんと古川夏羽さん
それぞれ応募した作文コンクールで入選



愛媛
CATV
動画

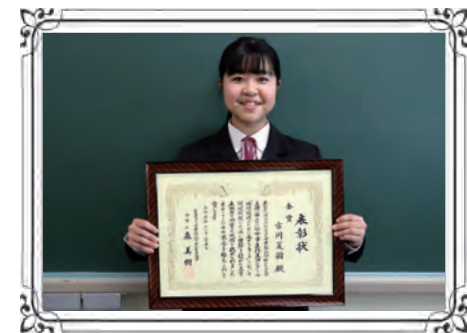
宮本さんが応募した「第42回全国中学生人権作文コンテスト」は、日常の家庭生活や学校生活などの中で得た体験に基づく作文を書くことを通し、人権尊重の大切さや豊かな人権感覚を身につけてもらうことを目的として法務省と全国人権擁護委員連合会が実施しており、今年は全国6,494校から76万1,947点が集まりました。

ウクライナ軍事侵攻への訴えと、大切な妹を病気で失った経験から感じた思いを丁寧に書き記した作文『大切な命』が、見事、法務大臣賞に選ばれました。「受賞することができて嬉しい。この作文を多くの方に読んでいただきたい」と話す宮本さんは、命と向き合う看護師の道を目指したいと話しました。



【法務大臣賞】

宮本 龍太さん
『大切な命』



【金賞】

古川 夏羽さん
『地産地消で明るい未来を』

古川さんが応募した「第21回中学生作文コンクール～地球環境のために今できること～」は、公益財団法人イオンワンパーセントクラブ主催で全国から7,787点が出品され、古川さんが書いた『地産地消で明るい未来を』が10作品のみが選ばれる金賞に輝きました。

「みんなに少しでも地球環境について考えるきっかけにしてほしいと言う気持ちで書いた」と話す古川さんは、日常生活の中でできる地球環境を守るための取り組みについて、「食」にスポットを当てながら自身の考えを分かりやすくまとめ、作文を書き上げました。受賞したことに驚きと喜びを見せた古川さんは、「食に関するだけでなく普段の生活の中で小さなことから地球環境のために取り組めることがたくさんあると思うので、これからも意識しながら生活していきたい」と笑顔で話しました。

租税意識の向上を目指して 税についての作文を表彰

令和5年度中学生の「税についての作文」の入賞者が表彰を受けました。町内からは、城辺中学校3年の小林大起さんが宇和島地区税務連絡協議会長賞を受賞するなど5人が入選しました。



■宇和島地区
税務連絡協議会長賞
城辺中 3年 小林 大起さん
『税が支える僕の暮らし』



■宇和島税務署管内
青色申告会連合会長賞
御荘中 3年 大塚 絢太さん
『幸せな生活を支える税金』



■四国税理士会
宇和島支部長賞
篠山中 3年 ショート アンセルさん
『僕たちの生活と税』



■公益社団法人
宇和島法人会長賞
御荘中 3年 小川 優香さん
『税金の重要性と課題』



■宇和島税務署管内
納税貯蓄組合連合会長賞
一本松中 3年 福島 昊虎さん
『身近な生活の中にある税』

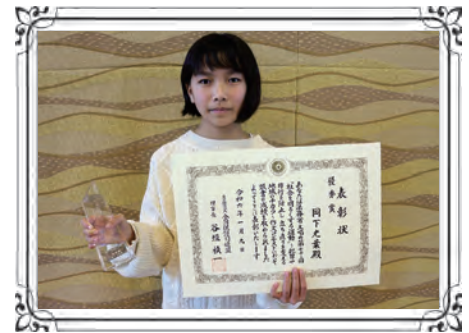
「第73回社会を明るくする運動作文コンテスト」 城辺小学校6年生 岡下^{みつば}光葉さんが優秀賞受賞



法務省主催の「社会を明るくする運動」作文コンテストで、城辺小学校6年生の岡下^{みつば}光葉さんが書いた『明るい学校へ』が小学生の部で全国保護司連盟理事長賞（優秀賞）に輝き、1月19日（金）に城辺小学校体育館で表彰状授与と作文朗読が行われました。

このコンテストは、家庭や学校生活の中で犯罪や非行について考えたことを作文にするもので、本年度は全国各地の小学校から12万7,880点の作品が寄せられました。岡下さんは、昨年7月に城辺小学校で行われた「社会を明るくする運動」学習会で得た学びや感じたことを、素直に表現しました。

犯罪や非行という難しいテーマに対して真剣に向き合い、みんなが明るく生きていくために自分たちができることへの思いをつづった岡下さんは「差別や偏見がなくなっほしいという思いで作文を書きました。学校生活の中でも、周りの友だちに気配りをしながらさらに明るい学校を目指したいです」と笑顔で話しました。



【全国保護司連盟理事長賞】

岡下^{みつば}光葉さん 祝
『明るい学校へ』

地域活性化策コンテスト「田舎力甲子園」で 南宇和高校2年生 稲田^{わか}若菜さんが最優秀賞受賞

令和5年12月に行われた地域活性化策コンテスト「田舎力甲子園2023」で、南宇和高校2年生の稲田^{わか}若菜さん（地域振興研究部・部長）が最優秀賞を受賞しました。このコンテストは全国の高校生を対象に地域の活性化を行う取り組みを募集するもので、今年は18都府県24校の高校生から25策の応募があり、稲田さんは「愛南ゴールド真鯛で愛南町を救いタイ」と題して、有限会社ハマスイと南宇和高校がコラボした商品「愛南ゴールド真鯛」の取り組みを紹介しました。

1月26日（金）、受賞報告のために町長を訪問した稲田さんは、「この町の魅力は距離感が近いところだと思います。愛南ゴールド真鯛のコラボのときも、高校生である私たちが、企業の方々と直接話して思いを伝えられたのは、人と人の距離が近い愛南町だからこそできたことだと思います」と語りました。



【最優秀賞】

稲田^{わか}若菜さん 祝
『愛南ゴールド真鯛で
愛南町を救いタイ』

令和5年度「愛顔感動ものがたり」写真部門 濱本^{ひでお}秀雄さん（船越）が愛媛広告協会賞を受賞

愛媛の知名度向上のために県が行う「愛顔感動ものがたり」写真部門（応募総数5,133作品）で、濱本^{ひでお}秀雄さんの作品が愛媛広告協会賞を受賞しました。

写真タイトル「親子共演 秋祭り」（令和4年11月3日撮影）

3年ぶりの秋祭りにこの愛顔です。家串地区の秋祭りには、念願叶ってこの日初めて行きました。

まずは、とびっきりお揃いの愛顔をいただいた前田さん親子に感謝です。

父は天狗、中学生の息子は太鼓打ちとして、共に郷土芸能『荒獅子』を盛り立て、保存伝承の担い手となっています。

「ふれあい」シーンを撮るのが好きですが、この親子の写真が撮れた瞬間から手応えを感じ、お気に入りの写真でもありました。令和2年度に続き、2度目の受賞となりとても嬉しく思っています。
（濱本秀雄さんより）



12/26 地区住民の温かな交流会 深浦なかよし館で「ふれあい深浦食堂」開催



▲温かな食事をお盆の上に受け取っていく参加者

深浦のなかよし館で住民同士の交流を目的としたふれあい食堂（主催：深浦ふれあい会）が開かれ、138人の参加者が集まりました。この食堂は自治会や青年団、にこにこサークル、PTA、愛南町社会福祉協議会が協力して開いたもので、おにぎりや豚汁、焼きそば、おでんなどが振る舞われたほか、餅つきや、餅まき、射的などの催しも行われました。参加者からは「おいしくてほっとする。来てよかった」、「子どもたちもたくさん来ていてにぎやかで楽しい」などの感想が上がりました。

イベントの最後に行われた餅まきでは、参加者がなかよし館の前に並び、餅やお菓子が飛んでくるたびに大きな歓声が飛び交いました。

12/27 「愛媛・伊予観光大使（いよかん大使）」のSTU48メンバー 兵頭葵さんが愛南町を訪問



愛媛
CATV
動画



▲清水雅文町長と記念撮影する兵頭葵さん

12月26日(火)、いよかん大使に任命された「STU48」の兵頭葵さんが、任命の翌日、本町を訪問しました。STU48は瀬戸内を拠点にするアイドルグループで、その中で愛媛県出身の3人がいよかん大使に任命されました。

祖父母が愛南町の出身ということで本町にもご縁があるという兵頭さんは、清水雅文町長との面談を通して町の魅力について言葉を交わし、「今まで県のことはInstagramなどを通して発信してきました。今後も情報を発信していきたいと思います。愛南町については、愛南ゴールドやタイのお刺身がおいしいと伺いました。それをたくさんの人に知ってもらえるようにPRしていきます」と今後の活動について語りました。

12/28 ゴルフを通じて地域貢献 「第27回一本松チャリティーゴルフコンペ」寄附金目録贈呈式



▲役場本庁教育長室で行われた目録贈呈式に出席した皆さん

四万十カントリークラブで行われた「第27回一本松チャリティーゴルフコンペ」の参加者有志や協賛企業による寄附金等の贈呈式が開催されました。贈呈式では、大会実行委員長を務める前田仁さんから、一般社団法人南宇和ありんこくらぶ、町教育委員会、町内保育所の各代表者に対して目録の贈呈が行われました。

このチャリティーは「ゴルフを通じて地域の役に立ちたい」という思いの下、毎年行われているもので、今回は過去最高人数の79人の参加者が集まり、合計40万円が寄附されました。寄附金は障がいを持つ子どもの支援活動費に当てられるほか、町子どもたちにたくさんの本を読んでもらいたいという実行委員会の思いから、図書券が贈呈されました。



愛媛
CATV
動画

1/
19

大谷選手、ありがとう!

しょうへい
大谷翔平選手から贈られたグローブが町内各小学校へ



▲仲良く交代でグローブをつけてキャッチボールを楽しむ児童(長月小学校)

メジャーリーガーの大谷翔平選手から全国の小学校へ寄贈されたグローブが、町内各小学校に届けられました。「野球しようぜ」のメッセージとともに贈られた3個のサイン入りグローブを受け取った児童は、各学校で自由に野球などを楽しんでいます。

昼休みにみんなでグラウンドに出て交代でキャッチボールをした長月小学校では、「届くのずっと楽しみにしていました。すごくかっこよくて感動しました。みんなで大事に使います。大谷選手、僕たちのところにグローブを届けてくれてありがとうございます!」と児童が輝く笑顔を見せました。

1/
25

発砲スチロール製品等を災害時物資として活用

トーホー工業株式会社と物資供給協力に関する災害協定を締結



愛媛
CATV
動画



▲協定書に署名した近藤大輔代表取締役社長と清水雅文町長

役場本庁2階第1会議室で、トーホー工業株式会社との「災害時における物資の供給協力に関する協定」締結式を開催しました。トーホー工業株式会社が地方自治体と災害協定を結ぶのは、本町が初となります。

提供される物資はEPSパレット(発砲スチロール製の敷板)等の発砲スチロール製品です。軽量で持ち運びやすく、断熱性・緩衝性・耐水性に優れているEPSパレットは、防寒対策等のために避難所の床に敷くなどの使用が想定されています。

トーホー工業株式会社の近藤大輔代表取締役社長は、「このように弊社が開発した商品でご協力できることは、50年近くお世話になっている愛南町へのご恩返しの一つになったのではないかと、大変嬉しく思っています」と町への思いを語りました。

1/
27

あいなん小児医療を守る会主催

「第10回あいなん医療研修会」開催



愛媛
CATV
動画



▲研修会には住民や医療関係者など計46人が参加

城辺保健福祉センターで「第10回あいなん医療研修会」が開催されました。保健福祉課による「愛南町のがん検診の現状」の報告や消防本部による「愛南町の救急現状と小児救急について」の報告があったほか、国保一本松病院の総合診療科医師・嶋本純也先生じゅんやの講話が行われました。

「総合診療におけるウェルビーイング(いい状態)」という演題のもと、嶋本先生は『がん対策基本法』にはがんに対する正しい知識を持ち、予防に必要な注意を払うように定める条文があることに触れ、「今の時代、たくさんの情報があふれていますが、そのまま受け入れるのではなく、必要な情報を取捨選択して生活に役立ててください」と語りました。

祝

篠山中学校ソフトテニス部(女子)

四国中学生インドアソフトテニス大会・個人戦優勝&団体準優勝!



12月26日(火)から27日(水)にかけて開催された「第38回四国中学生インドアソフトテニス大会」で、篠山中学校ソフトテニス部が団体戦準優勝、個人戦では中山心春さん・山崎史帆里さんペア(2年生)が優勝を果たしました。大会中のチームの様子を振り返った山崎さんは、「私たちの強みは、絆の強さだと思います。いつも笑顔で楽しい仲間たちです。互いの絆の深さがあるから、ここまで勝ち進むことができました」と“チーム篠中”の強さの秘訣を語りました。

すばらしい結果を残した篠山中学校ソフトテニス部は、すでに次の目標に向け、チームで一丸となって練習に励んでいます。

3月29日(金)から31日(日)にかけて三重県で開催予定の「第9回ミズノカップジュニア選抜ソフトテニス大会」には、個人戦・団体戦両方で出場が決定しています。また、中山さんと山崎さんは1月5日(金)・6日(土)に開催された都道府県対抗大会の選手選考会で県代表に選ばれ、3月26日(火)から28日(木)にかけて行われる「第35回都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会」に昨年度に引き続き出場が決まっています。



▲個人戦で優勝した山崎史帆里さん(左)と中山心春さんペア

地域おこし協力隊 活動日記

「南宇和高校の魅力化に向けて」

南光叶夢センターも開所から一年が経ちました。南宇和高校を中心に関係者や地域の方々への支えもありながら、生徒をサポートすることができました。

南宇和高校との協力体制もより力強いものとなり、南光叶夢センターを利用している生徒の目標や進路に合わせたサポートの充実で、大学等の進学実績につながっています。



思考力重視の大学入学共通テストは、個人の實力通りの結果が出やすいことが、より明確になりました。来年度は出題形式の変更が予定されており、試作問題を見る限りでは、学校で習った知識をそのまま使うのではなく、知識を生かして問題に対応する力がさらに必要になると予想されます。

南高生たちの「夢を叶える」サポートのため、南光叶夢センターでは、スタッフ一丸となって、総合型、学校推薦型等のすべての入試で求められる、高校生活3年間の日々の取り組みや積み重ねのサポートを充実させ、南宇和高校の魅力化に努めていきます。どうぞよろしくお願いたします。

【南光叶夢センター登録・利用状況】

- ・登録者数:88名(1年生 33名、2年生 20名、3年生 35名)
- ・延べ利用者数:2,424名、一日平均利用者数:8.4名

南宇和高校の生徒258名のうち88名が登録し、それぞれのペースで活用しています。